

少年は町の未来 夢に向かって力をつけよう ～少年教育推進目標～

## 子ども会リレー駅伝大会2025が開催されました

10月5日に上湧別百年記念公園にて開催され、町内児童25名が参加しました。この大会は、湧別町青少年指導センター（所長 平野寿雄さん）が主催する子ども会事業で、大会終了後には毎年恒例のお菓子まきも行われ、充実した大会となりました。

大会は、全25名の参加者を4チームに分け、1周500mのコースを15周（7.5km）チームで協力して走るルールで、全速力で走る児童の姿に、保護者の皆さんの応援にも力が入り、会場は盛り上がりを見せました。

終了後には、お菓子まきや新たな試みとして「サロマ湖100kmウルトラマラソン日本記録チャレンジ」を指導センター工藤事務局長を中心に行いました。50mを交代で走り切り、参加者からはこんなに速いんだといった驚きの声が聞こえました。



スタートの様子



チーム：パープルマン



チーム：イエローファスト



大会中の様子



チーム：ソーダフロート



チーム：ナイトメア



お菓子まきの様子



全体写真



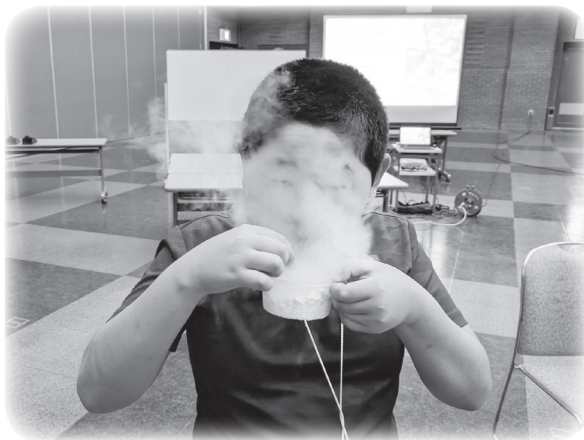
少年は町の未来 夢に向かって力をつけよう ～少年教育目標～

## わくわく体験塾 ～科学実験を体験してもっと理科を好きになろう～

10月11日、わくわく体験塾は文化センターTOMで6回目の体験活動「科学実験を体験してもっと理科を好きになろう」を実施しました。

この日は24名の塾生と、北見工業大学から講師の先生、職員の方、学生のお手伝いの方、合わせて16名の皆様が来てくれました。

「VRを体験しよう」では、学生の皆さんがプログラミングした4種類のゲームをVRゴーグルを付けて体験。「スライムを作ろう」では、様々な色のスライムを作りました。「瞬間アイスを作ろう」では、液体窒素にスポイトでアイスの液を垂らして作り、「振動発電機を作ろう」では、圧電素子を入れたケースに入れる鉄球の数でLEDの明るさが変わることが分かりました。



高齢者は町の知恵袋 豊かな経験を地域で生かそう ～高齢者教育推進目標～

## チューリップ生きがい大学講演会「食糧生産～ミツバチと人間社会の関わり～」

10月16日に訓子府町にある(株)菅野養蜂場の菅野裕隆氏を講師に迎え、講演会「食糧生産～ミツバチと人間社会の関わり～」を行いました。

養蜂家は全国を移動しながら蜂蜜を採取しているイメージがありますが、北海道の養蜂家は移動しながら採蜜を行っている方と、冬期間にはミツバチを越冬させて移動せずに採蜜を行っている方がいるそうです。菅野養蜂場のミツバチたちは、もうすぐ伊豆市の修善寺に向けて引越しをするための準備を始めています。

さて、世界中にはミツバチやハナバチといったハナバチ類約20,000種類が確認されていますが、そのうち4,000種類がこの半世紀で絶滅しています。その原因は「自然林の伐採」「食物の単一栽培」「過剰な農薬の使用」「寄生虫」と言われており、昆虫の働きで受粉する植物の70%以上はミツバチやマルハナバチが受粉に関わっています。そのためミツバチがいなくなると綿花の生産や食糧生産に影響が出て、人間の生産活動に壊滅的なダメージをおよぼします。ミツバチ等がいなくても収穫できるのは、風で受粉する、麦、米、自家受粉も可能な大豆ぐらいしかないそうです。

湧別町では多くの町民が基幹産業である農業、漁業に関わっています。ミツバチの話を通して、環境と人間の生産活動について一人一人が考えることの大切さを学びました。メモを取りながら熱心に講演を聴く学生の姿が多くみられました。





明日の元気は、きょうのスポーツから みんなで体を動かし楽しもう ～スポーツ振興の推進目標～

## 水中エクササイズ体験

9月30日と10月14日に「水中エクササイズ体験」が湧別プールで開催され、6名が参加しました。初心者向けの教室ということで、安全の心得や体調確認を行い、体操からスタート。水中では水の抵抗を利用しながら腕や脚の筋力を鍛え、水中ウォーキングでは効果的にを行うためのポイントを学び、実践しました。「一人だとプールに来ることはなかったが一緒に運動する仲間がいて嬉しい」などと初めてプールに入る人、一人ではなかなか運動を始めづらい人にも良い機会となっていました。



水中ウォーキング



水中筋力トレーニング

## “Let'sトライ!!”～チャレンジスポーツスクール～

10月18日に「チャレンジスポーツスクール」が湧別総合体育館で開催され、24名が参加しました。第5回目となる「チャレスポ」は、湧別高校ラグビー部顧問の小堀教諭を講師として招き「タグラグビー」を体験。5チームに分かれて、タグを取る練習や、ラグビーボールを前後左右に渡す際の声掛けの練習と各チーム3試合ずつ行いました。1試合終わると作戦会議をするなどチームワークもよくなり、後半の試合になると相手のタグを取る人、ボールを持ってトライする人など役割を分けて試合ができるようになりました。



ボールを持って走る練習



ボール回しの練習

明日の元気は、きょうのスポーツから みんなで体を動かし楽しもう ～スポーツ振興の推進目標～

**「わくわくゆうふいっと。」～No. 4～ 運動指導職員 三浦 茉畝<sup>まほ</sup>**

＊9月・10月の「ゆうふいっと。」「ゆうふいっと。プラス」はこんなことしました＊

**1) 「ゆうふいっと。」～体力測定～**

4月に引き続き2回目となる体力測定を行いました。定期的に参加してくれた方の傾向としてバランス能力の数値が良くなっていました。また、体の痛みが改善されるなどの結果がみられました。



体力測定の様子

**2) 「ゆうふいっと。プラス」～バレーボールのパフォーマンス向上～**

12月7日(日)に開催を予定している第50回町民300歳バレーボール大会に向け、筋力トレーニングやストレッチをバレーボールの動作に紐づけながら学びました。



ストレッチの様子

もうじき冬が訪れます。体調管理に気を付けながら一緒に運動しましょう！



リレーエッセイ

**社会教育委員さんのある一日 第179回**

今年のプロ野球日本シリーズは福岡ソフトバンクホークスが優勝し、阪神タイガースは日本一を逃してしまいました。

わたしは大阪出身なので阪神にまつわるいろいろな話を思い出してしまいましたが、その一つに「カネは出さないが口は出す 阪神タイガース影のオーナー上岡龍太郎でございます」と名調子で始まる芸人さんの前口上があります。続くのは前日の不甲斐ない試合結果に対する叱咤激励ということでももちろん深い愛情がゆえのものですが、これの面白さは「こういう人いるよね」という共感にあるのかなと思います。実はわたしも事業を営んでいるからかこのような「あーせいこーせい」をたくさんいただきます。愛ある良かれのご意見がほとんどですが、そのままの意味で「口を出すだけ」の人もあります。結局のところ誰も責任をとってはくれませんから最後は自分で判断し行動せねばなりません。その時に学生の頃や社会に出てから学んだことや経験が役に立つのだろーと思います。社会教育も単に勉強は大事ということだけでなく人生をより豊かにする術として重要なのだと改めて思った次第です。

社会教育委員 田渕 徹平



図書館は町民の憩いの場 みんなで学び楽しもう ～図書館活動推進目標～

## 湧別町図書館の令和7年度上半期（4月～9月）貸出ランキングベスト5！

令和7年度上半期の貸し出しランキングベスト5を発表します！この中でまだ読んでいない本がありましたらぜひこの機会に読んでみてはいかがでしょうか。



### 第1位 カフネ 著：阿部暁子 貸出回数：20回

2025年本屋大賞を獲得した超話題作！法務局に務める薫子是最愛の弟を亡くし、悲嘆に暮れます。そしてある日遺書が見つかり、そこには弟の元恋人、せつなの名前がありました。せつなの元を訪れると、彼女は「カフネ」という家事代行サービスに務めており、薫子も次第に手伝うようになっていき……。食と優しさが人々を癒しつなげていく、読むと心が温くなる一冊です。この本は中湧別・湧別図書館両館で借りることができます。

同率2位～5位のランキング			所蔵館	
タイトル	貸出回数		湧別	中湧別
2位 藍を継ぐ海 著：伊与 原新	15回		◎	◎
2位 国宝 上 青春篇 著：吉田 修一	15回		◎	◎
4位 禁忌の子 著：山口 未桜	14回		◎	◎
5位 国宝 下 花道篇 著：吉田 修一	13回		◎	◎

## 中湧別図書館「読み聞かせ会」のお知らせ

【日時】 12月 6日（土）13時00分から14時00分

12月20日（土）13時30分から14時00分

【場所】 中湧別図書館 おはなしコーナー

### 12月の図書館休館日

1日（月）、2日（火）、8日（月）、15日（月）、22日（月）

【年末休館】29日（月）、30日（火）、31日（水）

＊図書整理日（月末日）は休館日です。（月末日が土曜日・日曜日の場合は翌火曜日です。）

＊図書館休館日に返却される方は、玄関にあるブックポストをご利用ください。

【開館時間】 10時00分 から18時00分

【貸出冊数】 ひとり何冊でも借りられます。 【貸出期間】 2週間

【連絡先】 中湧別図書館 電話 2-3150 湧別図書館 電話 5-3122  
lib-n@town.yubetsu.lg.jp lib-y@town.yubetsu.lg.jp

## 埋蔵文化財シリーズ88

## 埋蔵文化財

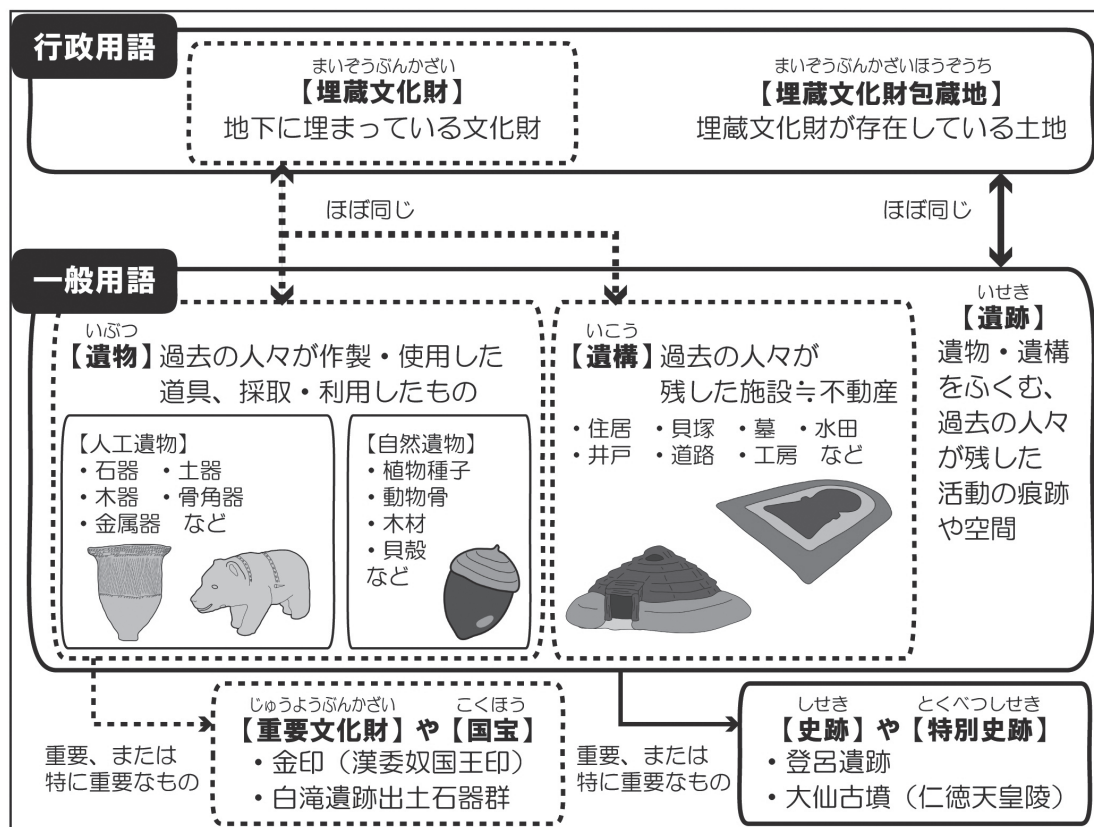
埋蔵文化財と遺跡の関係  
～文化財保護強調月間～

## 博物館だより

—ふるさと館 JRY・郷土館—

【190号】

湧別町には埋蔵文化財包蔵地（まいぞうぶんかざいほうぞうち）が57件あります。埋蔵文化財包蔵地は日常で「遺跡」と呼ばれることが多いのですが、それらの関係があまり知られていないのでご紹介いたします。



埋蔵文化財包蔵地（遺跡）は埋蔵文化財（遺物や遺構）が埋まっている土地のことです。それらは文化財保護法で保護の対象となっています。シブノツナイ竪穴住居群は重要な文化財（遺跡）であるため、道の史跡に指定されています。湧別町ではこの大事な史跡を守り後世に引き継いでいくために、価値を高め保護に必要な範囲を再確認する調査を計画的に行っています。

☆

☆

☆

☆

☆

10月8日から11月7日は「北海道文化財保護強調月間」でした。毎年この期間、北海道や各市町村等が文化財公開や講演会開催を実施し、多くの方が文化財に親しむことができる環境づくりを進めています。湧別町では11月1日に遺跡調査報告会を開催しました。報告会の内容は今後の博物館だよりで少しずつ紹介いたします。

## 湧別町生涯学習情報「湧く湧く」 2025年11月号 No.190

編集発行…湧別町教育委員会 社会教育課 〒099 - 6404 北海道紋別郡湧別町栄町219 - 1  
<https://www.town.yubetsu.lg.jp/>

印刷…林印刷所（中湧別北町） 発行…令和7年11月25日

記事へのお問合せは下記へ

\*社会教育課社会教育グループ…電話：01586 - 5 - 3132 FAX：01586 - 5 - 3710  
 メール：shakyo@town.yubetsu.lg.jp

\*湧別図書館……………電話：01586 - 5 - 3122 FAX：01586 - 5 - 3256

\*中湧別図書館……………電話：01586 - 2 - 3150 FAX：01586 - 2 - 3190

\*ふるさと館 JRY……………電話：01586 - 2 - 3000 FAX：01586 - 2 - 3200